

大久保秀興・本林伊祐著

奈良名所八重櫻 全12巻 合本1冊

〔版本地誌大系 別巻①〈古版地誌〉〕

■ 菊判・クロス装・368頁・付解説

本体10,000円＋税

延宝6年(1678)刊行。奈良市中の社寺縁起と古跡の由来を菱川師宣画と見られる挿絵とともに紹介。一都市の記述に12冊を費やした内容は詳細を極め多岐に渡るもので、他に類を見ない。挿絵は編纂当時の状況を記す点や春日祭行列図等載せる点で文化・民俗資料としても重要。古版地誌中最も稀覯と知られる貴重資料を影印。

ISBN978-4-653-04091-0 [10/1]

太田叙親・村井道弘著

南都名所集 全10巻 合本1冊

〔版本地誌大系 別巻②〈古版地誌〉〕

■ 菊判・クロス装・514頁・付解説

本体12,000円＋税

延宝3年(1675)刊行。大和国内の寺社・名所旧跡を、古歌や著者自作の句を織り交ぜながら、豊富な挿絵とともに紹介。1～6巻までは題号のとおり「南都」を、7巻以降は奈良を離れ、広く大和国全域を扱った地誌。同じ延宝年間に出版された「奈良名所八重櫻」と並び、大和地域の歴史・文化研究に欠かせない好資料を影印。

ISBN978-4-653-04092-7 [10/1]

雲水著／謡春庵周可著

吉野夢見草 全5巻 合本1冊
吉野山独案内 全6巻

〔版本地誌大系 別巻③〈古版地誌〉〕

■ 菊判・クロス装・524頁・付解説

本体12,000円＋税

吉野山の案内記二種を影印・複製。「吉野夢見草」は元禄8年(1695)刊、名所吉野を涉猟し詠じた桜の詩歌とその旅程の記録を纏めたもので、現存の少ない稀覯本。底本は天理図書館所蔵本。「吉野山独案内」は寛文11年(1671)刊、古歌・古詩等の引用に挿絵を交え、吉野山行旅の風俗をつぶさに伝える好資料。底本は京大文学研究科所蔵本。

ISBN978-4-653-04093-4 [10/5]

【地誌・郷土史料】

東京市役所(現東京都公文書館)編

東京市史稿〈産業篇〉

■ A5判・クロス装・図版入・カバー付

全26冊 本体463,718円＋税

江戸開府以前から明治末年に及ぶ江戸東京の根本資料『東京市史稿』の復刊。編年体で歴史事象を掲げ、関連史料を付載した本双書は、江戸時代に関するかぎり未刊の「大日本史料」に代わる役目もはたしている。本篇には、産業のみならず政治にも係わる各種の史料が詳細に収録されている。

ISBN978-4-653-02539-9 [93/4～03/1]

第1巻	古代～天正18年	本体11,650円＋税
第2巻	天正18年6月～慶長14年	本体15,534円＋税
第3巻	慶長15年～寛永11年	本体15,534円＋税
第4巻	寛永12年～慶安2年	本体18,000円＋税
第5巻	慶安3年～寛文元年	本体20,000円＋税
第6巻	寛文2年～同12年	本体22,000円＋税
第7巻	延宝元年～貞享4年	本体26,000円＋税
第8巻	元禄元年～同10年4月	本体19,500円＋税
第9巻	元禄10年5月～宝永5年	本体20,600円＋税
第10巻	宝永6年～享保元年4月	本体20,400円＋税
第11巻	享保元年5月～同9年5月	本体20,800円＋税
第12巻	享保9年5月～同13年	本体19,800円＋税
第13巻	享保14年～同18年3月	本体19,000円＋税

第14巻	享保18年4月～元文元年10月	本体19,500円＋税
第15巻	元文元年10月～寛保2年4月	本体19,000円＋税
第16巻	寛保2年5月～延享2年	本体18,800円＋税
第17巻	延享3年～寛延4年4月	本体17,600円＋税
第18巻	寛延4年5月～宝暦5年3月	本体17,500円＋税
第19巻	宝暦5年3月～同8年11月	本体15,200円＋税
第20巻	宝暦8年11月～同12年5月	本体16,800円＋税
第21巻	宝暦12年6月～明和3年3月	本体15,300円＋税
第22巻	明和3年3月～同6年10月	本体16,200円＋税
第23巻	明和6年10月～同9年3月	本体15,800円＋税
第24巻	明和9年4月～安永3年11月	本体15,800円＋税
第25巻	安永3年11月～同6年6月	本体14,000円＋税
第26巻	安永6年7月～同8年11月	本体13,400円＋税

東京市役所(現東京都公文書館)編

東京市史稿〈市街篇〉

■ A5判・クロス装・図版入・カバー付・附図はB5判

本篇は、「産業篇」とともに庶民の生活にもっとも密着した部分であり、江戸が都市として形成されるまでの状況を細かに記述している。彩色を含む図版が多数挿入された貴重な史料集である。附図の復刊にあたっては、保管・利用の便を考慮し、洋装本形態の1冊にまとめた。

ISBN978-4-653-02595-5 [93/9～04/12]

全73巻74冊・附図2冊 本体1,464,375円＋税

第1巻	古代～康正2年	本体15,534円＋税	第37巻	文政12年4月～天保4年12月	本体16,200円＋税
第2巻	長祿元年～慶長10年4月	本体16,505円＋税	第38巻	天保5年1月～同10年7月	本体17,400円＋税
第3巻	慶長10年4月～元和4年12月	本体18,500円＋税	第39巻	天保10年8月～同13年4月	本体18,000円＋税
第4巻	元和5年1月～寛永11年12月	本体18,500円＋税	第40巻	天保13年5月～同14年12月	本体18,500円＋税
第5巻	寛永12年1月～同20年12月	本体20,000円＋税	第41巻	天保14年12月～弘化3年10月	本体19,500円＋税
第6巻	寛永21年1月～明暦2年12月	本体20,000円＋税	第42巻	弘化3年11月～嘉永3年12月	本体23,000円＋税
附録	武蔵国絵図(970×930mm・多色刷) 武蔵田園簿(A5判・並製・274頁) 東京地勢図(663×663mm・多色刷)	本体21,000円＋税	第43巻	嘉永4年1月～同7年5月	本体21,000円＋税
第7巻	明暦3年1月～寛文2年2月	本体23,500円＋税	第44巻	嘉永7年6月～安政3年12月	本体19,000円＋税
第8巻	寛文2年2月～同12年1月	本体20,500円＋税	第45巻	安政4年2月～同6年12月	本体21,400円＋税
第9巻	寛文12年2月～天和2年3月	本体21,000円＋税	第46巻	安政7年1月～文久3年4月	本体20,400円＋税
第10巻	天和2年4月～元禄元年12月	本体22,500円＋税	第47巻	文久3年4月～慶応元年12月	本体15,500円＋税
第11巻	元禄2年1月～同6年12月	本体19,400円＋税	第48巻	慶応2年1月～同4年4月	本体17,000円＋税
第12巻	元禄7年1月～同10年5月	本体21,000円＋税	第49巻	慶応4年4月～同4年8月	本体20,000円＋税
第13巻	元禄10年5月～同12年4月	本体28,000円＋税	第50巻	慶応4年8月～明治2年12月	本体22,000円＋税
第14巻	元禄12年5月～同15年12月	本体25,600円＋税	第51巻	明治3年1月～同4年5月	本体20,000円＋税
第15巻	元禄15年12月～宝永2年8月	本体22,400円＋税	第52巻	明治4年6月～同5年4月	本体21,600円＋税
第16巻	宝永2年9月～同6年6月	本体22,300円＋税	第53巻	明治5年5月～同5年12月	本体20,600円＋税
第17巻	宝永6年7月～正徳3年閏5月	本体18,400円＋税	第54巻	明治6年1月～同6年6月	本体23,000円＋税
第18巻	正徳3年閏5月～享保2年5月	本体18,000円＋税	第55巻	明治6年7月～同6年12月	本体22,000円＋税
第19巻	享保2年6月～同5年12月	本体19,900円＋税	第56巻	明治7年1月～同7年12月	本体22,000円＋税
第20巻	享保6年1月～同9年4月	本体17,900円＋税	第57巻	明治7年全年にわたる史料 ～同8年12月	本体21,000円＋税
第21巻	享保9年閏4月～同12年12月	本体17,000円＋税	第58巻	明治9年1月～同9年12月	本体24,000円＋税
第22巻	享保13年1月～同18年2月	本体17,000円＋税	第59巻	明治10年1月～同10年8月	本体19,500円＋税
第23巻	享保18年3月～元文4年12月	本体18,000円＋税	第60巻	明治10年9月～同11年2月	本体19,500円＋税
第24巻	元文5年2月～永享3年11月	本体18,500円＋税	第61巻	明治11年3月～同11年12月	本体18,000円＋税
第25巻	永享3年12月～宝暦3年7月	本体18,700円＋税	第62巻	明治12年1月～同12年10月	本体20,000円＋税
第26巻	宝暦3年8月～同13年1月	本体16,500円＋税	第63巻	明治12年11月～同13年9月	本体17,400円＋税
第27巻	宝暦13年2月～明和8年12月	本体18,200円＋税	第64巻	明治13年10月～同14年3月	本体17,000円＋税
第28巻	明和9年1月～安永7年4月	本体16,600円＋税	第65巻	明治14年4月～同14年12月	本体17,000円＋税
第29巻	安永7年5月～天明6年4月	本体17,000円＋税	第66巻	明治15年1月～同15年11月	本体17,600円＋税
第30巻	天明6年6月～寛政3年4月	本体16,800円＋税	第67巻	明治15年12月～同16年12月	本体16,400円＋税
第31巻	寛政3年4月～同7年12月	本体17,400円＋税	第68巻	明治16年12月～同17年12月	本体16,000円＋税
第32巻	寛政8年1月～享和元年6月	本体17,900円＋税	第69巻	明治17年12月～同18年9月	本体15,200円＋税
第33巻	享和元年7月～文化5年12月	本体17,000円＋税	第70巻	明治18年10月～同19年6月	本体15,600円＋税
第34巻	文化6年1月～同14年6月	本体17,400円＋税	第71巻	明治19年6月～同20年3月	本体14,800円＋税
第35巻	文化14年7月～文政6年12月	本体16,000円＋税	第72巻	明治20年4月～同20年11月	本体14,400円＋税
第36巻	文政7年1月～同12年3月	本体16,500円＋税	第73巻	明治20年11月～同21年4月	本体13,800円＋税

附図第1 慶長江戸図・武州豊島郡江戸庄図
正保江戸図・寛文江戸図

享保年中江戸絵図・隅田川以東図 168頁 本体31,068円＋税

附図第2 明治四年東京大絵図
東京市区改正旧設計図
東京市区改正新設計図

114頁 本体31,068円＋税

静岡県編・相田二郎校訂

静岡県史料

■ A5判・クロス装・平均986頁・古文書、金石図版355枚
全5冊 本体94,000円＋税

静岡県内外に所蔵される同県の中世古文書集。概ね平安末期から、文禄・慶長に至るもので、地域別に大別し、かつ所蔵者別(家わけ)に分類、各年代順に配列された一級史料。校訂は古文書学の権威、相田二郎氏によるもので、静岡県史編纂事業の一つとして、昭和7年から10余年の歳月をかけて大成されたもの。多数の文書図版も再録する。
ISBN978-4-653-02728-7 [94/4]

宮崎県立図書館編

宮崎県史料

■ A5判・クロス装・4,226頁
全8冊 本体76,000円＋税

高鍋藩と佐土原藩の藩史料を収録する。「高鍋藩史」は家中の動静、百姓逃散など藩が対処しなければならなかった諸事象万般を逐一記述する。「佐土原藩史」は嶋津家としての格式を備えた藩主や諸行事、幕府・諸藩との贈答を中心に藩政の動向を記録する。いずれも史料的価値は極めて高く、藩政史及び郷土史を研究する上で必備の史料。
ISBN978-4-653-03111-6 [95/10]

岐阜県地方課編

岐阜県町村合併史

■ A5判・クロス装・1,096頁・写真3頁・地図1枚
本体19,000円＋税

本書は、ふるく貞観年中の美濃信濃国境争いから説き起し、奈良朝の郡郷設置や荘園の沿革、江戸期の村落、明治大正期の町村併合分離の状況、そして昭和28年町村合併促進法へと現在の市町村形成に至る過程を詳細に追う。一説、岐阜県の行政区劃変遷の全てが判る貴重な資料。
(昭和36年刊の復刻)
ISBN978-4-653-01606-9 [87/8]

井上頼壽著

近江祭礼風土記 正・続

■ A5判・クロス装・〈正編〉412頁・写真6頁・〈続篇〉138頁
全2冊 本体9,800円＋税
続篇「近江祭礼風土記 農耕儀礼」本体3,000円＋税

民俗学者として名高い著者は、深く愛した湖国各地をくまなく踏査し、古習神事の聞取り、文献調査を重ねた。その中から、古代神事の息吹を多く伝える「祈年祭」の原型「オコナイ」を滋賀県神社庁の依頼を受けまとめた正篇。そして湖国全土の祭礼を記述することを目指した続篇「農耕儀礼」の執筆が、惜しくも著者の絶筆となった。
ISBN978-4-653-03558-9(セット)、-03557-1(続篇)
[01/4]

木村至宏・江竜喜之・西川丈雄著〔滋賀県〕

近江人物伝

■ A5判・クロス装・306頁・折込地図1枚
本体2,500円＋税

近江を制するものは日本を制す。その近江は古来多くの人物を産み育てた。本書は人物を古代から現代に至るまで多くより厳選した上で、正確な伝記を興味深く紹介し、歴史の中で果たした役割をも評価、人物を通して郷土の歴史にふれる。ひるく近江を理解するためには恰好の読物。
(昭和15年刊の復刻)
ISBN978-4-653-01537-6 [87/4]

橋川正編／滋賀県野洲郡教育会発行〔滋賀県〕

野洲郡史

■ A5判・クロス装・総1,050頁
全2冊 本体26,000円＋税

琵琶湖東岸に位置する野洲郡は、天安川にその名の起源を有し、その歴史は古事記にまで遡る。古代より交通の要衝として栄えた野洲郡の歴史を、有史以前から最近世まで、豊富な史料と古地図・古文書や出土品・仏像等の写真図版を交えて綴った、地方史研究に不可欠の好資料。
(昭和12年刊の復刻)
ISBN978-4-653-03487-2 [98/7]

黒川道祐編・立川美彦訓読

訓読 雍州府志

■ A5判・クロス装・602頁
本体10,500円＋税
〈残部僅少〉

江戸前期に刊行された全十巻十冊の『雍州府志』は、元安芸藩儒医黒川道祐によって漢文で記された山城の国(京都府南部)の地誌である。古跡・神社・風俗・山川・土産等、歴史・文学の資料としても貴重な「京都大百科」の原典ともいべき同書を全篇訓読、充実した索引を付し、利用の便を図った。
ISBN978-4-653-03302-8 [97/4]

本巻 野間光辰編／新索引 木田章義監修・林泰弘編

新修 京都叢書

本巻2・3巻
新索引2巻

■ A5判・クロス装・本巻平均590頁・新索引総898頁

〈本巻〉23冊揃 本体173,500円＋税
〈新索引〉24・25巻 本体25,000円＋税

「京童」「京雀」等、京都に関わる江戸期の代表的な書物を集大成。洛中・洛外の社寺、名所旧跡、地誌、年中行事、諸職名匠、各町の由来、沿革と変遷など、近世京都の姿を余すところなく伝える。本文は原本との厳密な校訂を施し、異同は頭注に記した。新たに、「和歌・俳諧類索引」約4千項目を含む約5万項目を収録した新索引を刊行。ISBN978-4-653-03944-0 (全25冊) -02596-2 (本巻) -03943-3 (新索引)

[67/9 ~ 06/4]

第1巻	京童 京童跡追 京雀 京雀跡追	本体 6,600 円＋税	第12巻	近畿曆覽記 菟藝泥赴 京城勝覽 追補 近畿曆覽記脱文 京城勝覽挿繪	本体 7,900 円＋税
第2巻	京羽二重 (寶永板) 京羽二重織留 新編京羽二重織留大全	本体 7,600 円＋税	第13巻	山城名勝志 (乾)	本体 6,600 円＋税
第3巻	京獨家内手引集 都すゝめ案内者 京町鑑	本体 5,200 円＋税	第14巻	山城名勝志 (坤) 附 山城名勝志圖	本体 7,200 円＋税
第4巻	日記記事	本体 7,000 円＋税	第15巻	山州名跡志 (乾)	本体 6,500 円＋税
第5巻	名所都鳥 堀川の水 京内まいり 都名所車 都花月名所 洛陽十二社靈驗記	本体 7,800 円＋税	第16巻	山州名跡志 (坤)	本体 5,000 円＋税
			第17巻	京都坊目誌1	本体 5,200 円＋税
			第18巻	京都坊目誌2	本体 7,500 円＋税
			第19巻	京都坊目誌3	本体 8,000 円＋税
			第20巻	京都坊目誌4	本体 7,500 円＋税
第21巻	京都坊目誌5	本体 8,000 円＋税			
第6巻	都名所圖會 附 諸本對照表	本体 9,500 円＋税	第22巻	扶桑京華志 山城名跡巡行志 山城名所寺社物語	本体 7,800 円＋税
第7巻	拾遺都名所圖會	本体 7,600 円＋税	第23巻	古地圖集 新撰増補京大繪 名所手引京圖鑑綱目 改正京町御繪圖細見大成 京都區分一覽之圖	本体 12,500 円＋税
第8巻	寶永花洛細見圖 扇額軌範 花洛繪馬評判	本体 7,600 円＋税			
第9巻	都林泉名勝圖會 附 築山庭造傳 (抄)	本体 7,400 円＋税			
第10巻	雍州府志 附 初刻本鈔影	本体 9,500 円＋税	第24巻 ・ 第25巻	新索引 (人名・地名・一般項目) 付和歌・俳諧類索引	本体 25,000 円＋税
第11巻	京師巡覽集 洛陽名所集 出來齋京土産	本体 8,000 円＋税			

井上頼壽著

京都古習志

■ A5判・クロス装・416頁・写真22頁

本体6,700円＋税

ISBN978-4-653-01759-2 [01/3]

〔丹波・丹後資料〕

郷土と美術

自創刊号 (昭和14年)
至第48号 (同 18年) 休刊迄

■ A5判・クロス装・1,158頁・写真140頁・合本2冊
全2冊 本体14,000円＋税

京都府下、山城の村々における神社祭祀を、昭和初期、数十年にわたる綿密な聞きとり調査によって、克明に記述した民俗志の名著。祭祀組織「宮座」、そしてそこから派生した信仰組織、いわゆる「講」(伊勢講・祇園講・天神講・春日講など多数)を極めて丹念に記述する貴重な民俗資料。

多岐にわたる内容をもりこむ両丹地方史研究誌。待望の声久しい戦中発行停止に至るまでの分野を復刻。編集主幹に澤村秀夫、当時の寄稿陣には永濱宇平、糸井仙之助、山本文顕、四方源太郎ら多彩なメンバーをむかえる。丹波・丹後の地理・歴史・産業・民俗・民話・人物等々の記述は研究に欠かせない良質の資料。

ISBN978-4-653-01502-3 [86/12]

小林楓村編

播磨

自創刊号(昭和21年1月)
至第76号(同 44年5月)終刊迄

■ A5判・クロス装・総4,022頁・合本6冊
全6冊 本体55,000円＋税

播磨地方を中心にその歴史と民俗をさぐる本書は、小林楓村翁が独力、苦心の刊行を続けた郷土誌の雄である。翁の地道な研究・編纂活動の成果として、播磨の史蹟名勝・人物・伝説・民俗・風習・民謡・言語等多岐にわたる貴重な資料や報告を集成、今日の研究にとって不可欠な賜物といえよう。待望の合本復刻。

ISBN978-4-653-01555-4 [87/5]

渡辺月石著/黒田敏夫解説

磐草

淡路 付 蝦夷物語

■ A5判・クロス装・総1,284頁
全2冊 本体22,500円＋税

淡路島の文人・渡辺月石によって江戸後期(天保3年)に記された郷土史を、今回初めて自筆稿本より完全復刻。歴史的・民俗学的に貴重な記述や、図解・挿図も数多く収載。巻頭に全巻目次をつけて利用の便を図った。高田屋嘉兵衛の弟からの聞き取りをまとめた『蝦夷物語』の翻刻を付す。

ISBN978-4-653-03917-4 [03/4]

五ヶ谷村史編集委員会編・発行[奈良県]

五ヶ谷村史

■ A5判・クロス装・680頁・図絵カラー写真7頁
本体9,000円＋税

昭和30年奈良市と合併するまで存在していた五ヶ谷村(現在の奈良県精華地区)は、古代は平城京から伊勢へと通ずる伊勢街道として栄え、白山比咩神社、春日神社ほか多くの社寺・文化財を有する歴史ある村落。本書は地理・人口・歴史・民俗・教育など、古代から現在に至るまで、五ヶ谷村をくまなく詳述する。

〈総発売元〉
ISBN978-4-653-03170-3

新訂大宇陀町史編集委員会編[奈良県]

新訂大宇陀町史 史料編

第1巻(古代・中世・近世上)・第2巻(近世下)・第3巻(近代)
■ A5判・クロス装・平均1,100頁

全3冊 各巻本体11,429円＋税

豊かな自然と歴史的文化遺産が数多く残る大宇陀町は、万葉の昔から歴史の舞台に登場し、中世を経て、江戸時代には織田家松山藩の政治・経済の中心として栄えた。昭和34年「大宇陀町史」発刊以来、収集・調査によって蓄積された新史料の解明、研究成果の進展を加え、新たに「新訂大宇陀町史 史料編」(全3巻)を編纂する。

[96/3～02/9]

宇智郡役所編[奈良県]

奈良県 宇智郡 誌

■ A5判・クロス装・630頁・図版27点
本体9,400円＋税

昭和32年の合併により消滅した宇智郡は、奈良県の中西端に位置し、現五條市のほぼ全域を占めていた。北に金剛、南に吉野の山並を望み、御霊信仰の中心地、修験道の拠点であったほか、天領に属し、皇族の遷転、名門の移居、豪族の割拠や興廃変転の数々の遺跡を残す。本書はそれらの得難い重要史料を満載する。(大正13年刊の復刻)

ISBN978-4-653-02887-1 [94/11]

奈良県広陵町史編集委員会編

広陵町史

■ A5判・クロス装・894頁・図版309枚・図絵14枚
本体14,000円＋税

昭和30年4月、馬見町・瀬南村・百済村が合併、翌年9月、更に箸尾町が加わって誕生した広陵町は、奈良盆地西方、馬見丘陵東部に位置し、菓山古墳、百済大寺など、多数の遺跡や歴史的建造物を残す。本書はこれらの遺物のほか、同町の風土、伝説、動植物、金石文に至る史実や産業の躍進をも収載する。

(昭和40年刊の復刻)
ISBN978-4-653-02888-8 [94/11]

田中家文書調査会編

宇和海浦方史料 三浦田中家文書

■ A5判・クロス装・平均600頁
全4冊 本体47,000円＋税

愛媛県宇和島市の田中家に伝存する文書は、近世庄屋文書の中でも随一の豊富な資料を有する。有力な網元でもあった同家の御用留的日記「御書出魁所此此外珍事為覚悟代々記」や網元の経営記録で漁業史料の白眉「漁事繁采記」等多数の文書を翻刻。宇和島藩政を反映する貴重な記録であり、漁村史から近世を照らし出す重要資料。

〈分売可〉
ISBN978-4-653-03555-8 [01/2～04/2]